

令和5年度 第1回

グループホームたてがみの郷 運営推進会議 報告書

日 時：令和5年5月19日（木）9：30～10：00

場 所：竹下成果

出席者：9人（利用者家族2名、地域住民代表2名、大田市職員2名、事業所職員3名）

議 題：理事長挨拶、委員、職員の自己紹介

1. 登録実績と利用状況について
2. 令和5年度 事業計画について
3. 近況報告
4. 検討事項（事業所と地域との付き合い方について）
5. 外部評価関連項目
6. その他、意見交換

報告事項

1. 登録実績と利用状況報告についてレジュメの資料により確認いただいた。
2. 別添資料にて令和5年度の事業計画について説明し理解を得た。
3. 近況報告（入退去についての報告）
 - ・3月末時点で退居2名、4月末時点での退去2名があった。内訳として特養入所2名、長期入院が1名、病気の悪化による死亡が1名（家族意向によりGHでの看取対応）。
 - ・4月中に4名の新規入居があり現在は満床。（内訳：仁万・志学各1名、波根2名）
4. 前年度の外部評価から今年度はより地域と深い繋がりを持つことを確認した。
 - ・地域密着型サービスや運営推進会議についての理解が得られにくい状況もあったことから、別添資料にて事業所の役割や会議の在り方、目的等を改めて説明した。
 - ・事業所からは各自治会へ畑の指導や余暇趣味活動で必要な物品の提供を、回覧等での周知を依頼した。また、地域からは認知症や運動の研修についての要望があり、地域ふれあい協議会の活動を通じて研修等を開催していく。
5. 6月に夜間想定避難訓練、11月に日中想定避難訓練を予定。今回は地域の方にも参加していただき、意見や助言などもいただく予定。また、地域の方からは災害などの研修などがあれば呼び掛けてほしいとの意向があり、随時情報提供することとした。
6. R4年度外部評価について運営推進会議において検討・評価いただいたものを法人HPにて公開中であること、ご家族へは運営推進会議で協議した項目については今年度の目標達成計画書として作成し送付済。また、GH玄関に閲覧用を設置したことを報告した。

次回予定 令和5年7月20日（木曜日）9：30～

令和4年度 第2回

グループホームたてがみの郷 運営推進会議 報告書

日 時：令和5年7月20日（木） 9：30～10：00

場 所：第1会議室

出席者：9人（利用者家族1名、地域住民代表2名、波根駐在所1名、大田市職員1名、民生児童委員1名、事業所職員3名）

議 題

1.登録実績と利用状況について

2. 近況報告

3. 外部評価関連

*事業所と地域との付き合い方について

- ・ 大津自治会長より囲碁の場所として施設の一角を提供してほしいとの依頼あり
- ・ グループホームご利用者の活動報告及び地域の方への協力依頼（物品提供、畑指導）として広報誌「絆通信」配布についてのお願い

*事業所の防災・災害対策について

夜間想定避難訓練を6/21に行った 実施状況報告と地域の方からの評価報告

*その他

報告内容

1.登録実績と利用状況について 別紙レジユメ参照

2.近況報告

- ・ 5月6月と入退居なし。体調不良者があったが主治医との連携により早期対応し、悪化を予防することができた。
- ・ 新型コロナ感染の影響で中止していた昼食作りを今月から再開した。

3.外部評価についての報告、意見交換

*8月から法人の別棟にある竹下成果を地域の方の碁会所として提供する事となった。

【広報誌「絆通信」について地域代表からの質問・意見】

- ・ 大津中浜地区だけではなく波根地区の全戸数に回覧したほうがよいのではないか。
→どの程度依頼が来るかわからない状況であったので、大津地区、中浜地区のみと考えていた。経過を見て検討させていただく。
- ・ 協力依頼内容に畑づくりのサポートとあるが、利用者の方が地域の人や職員にその人が指導してもらおうほうが喜ばれるのではないか。
→長年されてきた方もおられるが、ブランクがあったり個々で育て方が異なったりすることを理由に遠慮される現状がある。地域交流の一環として作業の協力をお願いしたい。
- ・ 頻度やどのタイミングで協力に来たら良いのか教えてほしい。
→指定はなく気軽に相談出来たり立ち寄りしてもらえるように交流を図りたい。

*夜間想定の方災訓練見学後の意見、評価

- ・夜間想定であったが、本当に夜間に行わないと実際の動きは掴めないのではないか。また、利用者の参加人数を絞るなどして実施できないか。

→総合訓練の頻度を増やすことが難しいため、夜間帯を想定した実際の時間に避難訓練、通報訓練、消火訓練などを部分的に行うように計画していく。地域の方の協力内容についてもマニュアルに記載するように勧めていく。

- ・消火訓練は新人職員だけでなく何年に一回は職員がやったほうが良いのではないか。

→新人に限らず全職員が定期的に消火訓練をできるように計画する。

*前年度に始めた地域貢献としての児童見守り隊について

- ・評価と今年度の取り組みについて教えてほしい。継続的な取り組みであれば経過報告が必要ではないか。

→昨年度の評価として、あんきなが小学校前、GHが金子旅館前で見守りした。金子旅館前は児童の帰宅が把握しづらく、また、冬季は風も強くご利用者の同行も難しい。その評価を踏まえて、今年度はあんきな・GH共に曜日分けて、学校前での見守りを行うことになった。児童との交流や自分の役割として認識されているご利用者もおられ、良い効果も得られている。今後、経過報告を定期的に外部評価の参考とさせていただく。

令和5年度 第3回

グループホームたてがみの郷 運営推進会議 報告書

日 時：令和5年9月21日（木）9：30～10：30

場 所：第一会議室

出席者：11人（利用者家族2名、地域住民の代表2名、民生児童委員1名、波根駐在所1名、大田市職員1名、事業所職員4名）

議 題

- 1.登録実績と利用状況について
- 2.近況報告
- 3.検討事項
- 4.外部評価関連

報告事項

- 1.登録実績と利用状況について 別紙レジュメ参照

- ・7月8月と入退居なし。お盆を利用して外泊者が1名あり。

- 2.近況報告

- ・9/16（土）敬老会開催
- ・大田市立図書館（仁摩・中央）で開催されるパネル展へ利用者作品を出展
仁摩 9/1～9/28、中央 9/28～10/6

- 3.検討議題

【事業所と地域の付き合い方について】

- ・朝波小学校児童見守りを夏休みが空けて9/6（水）より再開。ご利用者の役割として定着していることを報告する。
 - ・前回、広報誌の回覧や戸別配布を自治会に協力いただいた。畑作業の指導についてはボランティアの申し出が1件あり、随時相談や協力をお願いする予定。リメイク用の物品提供については0件であったので、今後も法人の広報誌で継続して発信することを報告した。
 - *中浜自治会長より物品提供についてPRが薄かったのではないかと。提供してもらった物品がどのように使われるのかを具体的かつ分かり易くしたらどうだろうかご意見をいただいた。また、波根の自治会全戸に配布したほうがよいのではと再度提案される。
- 協力目的や物品の用途、連絡先などをわかりやすく改める。波根町の全自治会に回覧できるように、法人の広報誌を通じて情報発信する予定。また、まちづくりセンターへも協力をお願いしていくことを検討する。
- ・8/22から地域の方に囲碁の対局の場として竹下成果を提供した。法人のご利用者で対局の指導の要望があれば、大津自治会長から会員の方に連絡し、対応いただく協力も得た。

4.外部評価関連

【防火・防災対策について】

前回、たてがみの郷の海拔（土地、建物）について問い合わせがあり回答した。

土地部分：6.5m、2F床部分：10.5m、3F床部分：14.5m

【身体拘束をしないケアの実践について】

年2回全体研修を実施している。9月の研修では、チェックリストでの個人ワークで制度理解や日々の支援での振り返りを行う。その後、部署で課題を抽出。1か月間課題に対する取組を実践していく予定との説明を行った。

地域代表委員より2点の意見が挙がった

*実際に身体拘束はあるのか

→目に見えた身体拘束は行っていないが、行動を制限するような言葉使いや態度をとってしまうことは現状ある。それらの背景や要因なども共有したうえで課題解決を図り、職員一人ひとりにご利用者の尊厳と主体性を尊重した支援、抑制を安易に正当化しない意識を定着させていくのを目的とした旨の説明を行った。

*研修によって浮かび上がった課題や取り組み、取り組んだ結果についても報告があれば評価にも役立てたい。

→次回の運営推進会議にて報告する。

5. その他

次回運営推進会議にてGHの施設内見学を予定。安全・環境の評価をいただく。